

## 施設を用いた新規作物(ニラ)の試験栽培

## 状況

## 島根県 江津市 井沢地区

地区概要: 農地面積57.0ha(うち耕作放棄地0.8ha)  
 荒廃の理由: 後継者不在  
 荒廃の程度: 雑草が繁茂。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 緑



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 15a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成22年2月10日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年4月1日～平成22年12月31日  
 取組のきっかけ: 当該農地付近の住民から、「近隣に耕作放棄地があり、景観も悪く、鳥獣による付近への悪影響があるので、耕作放棄地を解消してもらいたい。」と要請があり、解消事業導入にあたって方策の検討を行った結果、当該耕作放棄地に圃場が隣接する農業参入企業に依頼し、実証ほとして実施することとなった。  
 調整経緯: 特定法人貸付事業の規定に沿って、市が地権者から農地を借り上げ、企業に貸し出すという方式を取った。(土地の貸借については平成21年12月上旬に締結。)  
 取組主体: 農業参入企業(特定法人)  
 取組作物: ニラ  
 作業内容: 雑草の刈払、整地、土壌改良、定植、土側溝整備、ハウス1棟の設置  
 実証状況: 3月に育苗を行い、5月に定植し、10月中旬に初出荷を行った。現在は次期出荷に向けて栽培を行っている。秋と春の年2回収穫する予定。当地区は積雪が多く、ハウスでのニラの通年栽培ははじめての取り組み。  
 出荷先: 市内カット野菜業者に販売するとともに、道の駅内の農水産物直売所「三彦市」での販売も予定している。

## 今後の予定

継続して通年栽培を行い、連作障害の発生しにくい2年6ヶ月程度の長期栽培を行う。

## 再生状況



再生作業中(排水路)



ニラ栽培中



実証ほの看板



再生作業後



ニラ栽培中



ハウス

現状

# 施設を用いた新規作物(トルコキキョウ)の試験栽培

## 状況

### 島根県 江津市 都野津地区

地区概要: 農地面積37.6ha(うち耕作放棄地3.9ha)  
 荒廃の理由: 後継者不在  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 緑



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 20a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成22年2月10日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年4月1日～平成22年12月31日  
 取組のきっかけ: 当該農地付近の住民から、「近隣に耕作放棄地があり、景観も悪く、鳥獣による付近への悪影響があるので、耕作放棄地を解消してもらいたい。」と要請があり、解消事業導入にあたって方策の検討を行った結果、農地の斡旋と新規就農支援に加えて、耕作放棄地の解消を行えるということから、実証圃場を設置し栽培管理を行うことを新規就農者へ依頼、実施となった。  
 調整経緯: 取組主体が新規就農者であったため、単独での土地貸借が難しく、取組主体、地権者、市の三者で協議を行い、土地の貸借契約を行い事業実施にいたった。  
 取組主体: 新規就農者  
 取組作物: トルコキキョウ  
 作業内容: 雑草・樹木の刈払、整地、土壌改良、定植、暗渠整備、ハウス2棟の設置  
 実証状況: 3月末から4月上旬及び6月中旬の2回に分けて定植。8月中旬までに1棟目、10月上旬に2棟目の出荷が終了。  
 現在、次の定植に向けて育苗を行っている。  
 出荷先: 道の駅内の農水産物直売所「三彦市」や浜田市内直売所、青果市場の花卉部門への出荷を行っている。

## 今後の予定

継続して栽培を行い、花卉栽培農家の少ない本市においての産地形成を図る。

## 再生状況



再生作業中(整地)



トルコキキョウ栽培中



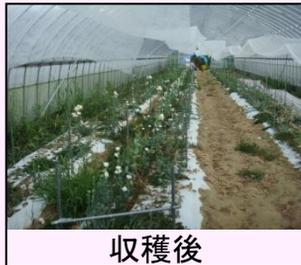
実証ほの看板



実証ほの看板



再生作業後



収穫後



ハウス

現状